

## ジャズベーシスト クロビス ニコラス Clovis Nicolas

アフリカ、アイボリーコーストで生まれ、フランスのプロバンスで育つ。  
大学で哲学を専攻するも、プロのミュージシャンになることを決意。  
マルセイユの国立音楽学校を卒業したのち、パリへ移る。

彼の精密かつ美しいベースプレイはすぐにパリで確実な評価を得る事となり、  
瞬く間にファーストコールミュージシャン（一番最初に声がかかるミュージシャン）と  
して多忙な日々を送るようになる。主な共演者として、

Dee Dee Bridgewater ディディブリッジウォーター, Brad Mehldau ブラッドメル  
ドー、Andre Ceccarelli アンドレセキャレリ, Michel Legrand ミッシェルグラン,  
Stefano Di Battista ステファノディバティスタ、Belmondo ベルモンド兄弟等がいる。  
ベルモンド兄弟と録音した3枚のアルバムの一つ、『Hymne au Soleil』は2004年  
のグラミーアワードで3部門もの賞を獲得、2万枚を超えるヒットとなる。

また批評家に絶賛された、フランスの若手No.1ピアニスト、Baptiste Trotignon  
バティストトロティニョンのファースト、セカンドアルバムにも参加。彼のバンドメン  
バーとして国際的なジャズフェスティバル（JVC、パリスラヴィレット、テアトルシャン  
ゼリゼ、マルセアック、ジャザヴィエン、モンレー、モンリオール、バンクーバー  
等）を制覇する。

2002年、NYに渡った後はさらに活躍の場を拡げ、Jazz Standard ジャズスタンダー  
ド、Blue Note ブルーノート、Kennedy Center ケネディセンター、Smalls Jazz  
Club スモールズジャズクラブ、Birdland バードランド、Jazz Gallery ジャズギャラ  
リー、Dizzy's Club ディジーズクラブ等で 現代のジャズ界のトッププレイヤーたち、  
Peter Bernstein ピーターバーンスタイン、Grant Stewart グラントスチュワート、  
Harry Allen ハリーアレン、Sachal Vasandani サチャルヴァサンダーニ、Carl Allen  
カールアレン、Joe Magnarelli ジョーマグナレリ、Jane Monheit ジェーンモンハイ  
ト、Peter and Will Anderson ピーター、ウィルアンダーソン兄弟、Frank Wess フラ  
ンクウェス、Branford Marsalis ブランフォードマルサリス、Dan Nimmer ダンニマー  
らと演奏、ツアーを行う。

2009年、なお一層の学びを求め、難関をくぐり抜け、名門ジュリアード、ジャズ科  
に入学。ジャズベースの巨匠、Ron Carter ロンカーターのもとでプレイに磨きをかける  
と同時に作曲家、Kendall Briggs ケンダルブリッグスより、クラシックコンポジショ  
ン及び管弦楽法を学び、2012年、異例のスピードで修士号を獲得し卒業する。

同年、ジュリアード主催によるカーター氏の75歳を祝う記念コンサート、“Ron Carter at 75”の壇上にてHerbie Hancockハービーハンコック、Russell Maloneラッセルマローン、Mulgrew Miller マルグリユウミラー、Lewis Nashルイスナッシュ、Benny Golson ベニーゴルソン、Buster Williams バスターウィリアムスらと共演。コンサート終焉にはカーター氏の親友で、ショーの司会をつとめた俳優Danny Gloverダニーグローバーより、ロンカータースカラシップの受賞者として表彰され上記のジャズマスター達、そして満場の客席より祝福されるという栄誉を得る。

現在、トップベーシストの一人として精力的に活動する傍ら、6名（リズムセクション、トランペット、サクソ、ギター）から成る自身のバンド、Clovis Nicolas Sextet クロビスニコラスシックステットを結成。

彼自身の作曲によるオリジナルの他、彼流にアレンジした、ジャズクラシックSonny Rollins ソニーロリンズの“The Bridge”や、コンテンポラリーピアニストFred Herschフレッドハーシュの“Stuttering”等を含むアルバムをサニーサイドレコードより2014年3月に発売予定。

“You will hear, from Mr. Nicolas, well thought out bass lines that spur the band in the direction that he wants them to go [...] A very, very good bass sound.”

#### **Ron Carter-Bassist, Composer**

『ニコラス氏の熟考されたベースラインがバンド全体を彼の求める方向へと促し、駆り立てる。極めて素晴らしいベースサウンドだ。』

#### **ロンカーター/ベーシスト、作曲家**

“Clovis has shown to be a first rate bass player of international level. His constant improvements show a huge capacity for hard work, and a great desire to move forward.”

#### **Claude Carriere, President of the French Jazz Academy Institution, Jazz Radio Producer**

『クロビスは国際的なレベルにおいて、まさにトップクラスのベースプレイヤーである。彼のとどまるところのない進化は、とてつもない努力とそれに値する能力、そして前に進もうとする強固な意志の結果である』

クロードキャリエラ／フランスジャズ組合会長、ジャズラジオプロデューサー

“He is among these musicians that know how to reveal a leader’s qualities by bringing him the treasure of swing and musicality within himself. “

**Jazz Magazine**

『彼は彼の内なる宝物、スウィングと音による芸術、によって天性のジャズミュージシャンである事を証明できる一人だ。』

**ジャズマガジン**

“Marvelously grounded tempo of bassist Clovis Nicolas! ”

**Le Monde**

『ベーシスト、クロビスニコラスの驚くばかりに確立された速度！』

**ルモンド**